

03.09.08

アーバンリノベーション研究 合宿発表

人口還流現象の実態とその要因に関する研究  
- 兵庫県淡路島を事例に



政策メディア研究科 修士課程2年

片桐 暁史 / akifumi@sfc.keio.ac.jp

本日のテーマ

研究計画  
おさらい

研究の流れ

現在の位置づけ

これから



最近  
やってること

アンケートの  
位置づけ

アンケート作成

アンケート  
実施許可

ぷちヒアリング

みんなで  
議論

Uターンの  
時期・要因  
って??



アンケート票  
作成のヒントに

# 研究の目的

## 問題意識

中山間地域・・・国土面積の7割  
農業生産の4割  
若年層流出による過疎・高齢化

人口還流の正確な実態把握は  
わが国の地方圏の将来に重要課題

## 研究の目的

兵庫県淡路島を事例に、  
人口還流の実態と要因を解明

どのような人が、  
どのような条件の下で帰還し、  
どのような役割を果たしているか

## 研究の意義

既往研究・・・国調、住基  
(×) Uターンの正確な実数把握  
同窓会名簿分析により  
市町村単位での帰還先の特定  
淡路島・・・  
人口移動を左右する様々な要素



# 研究の流れ

2001卒業制  
～  
2002.05

< 昨年度 >

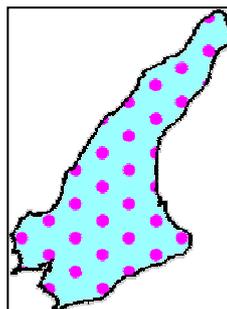
国勢調査  
住民基本台帳  
事業所統計

現地巡検  
役場ヒアリング

既往研究調査

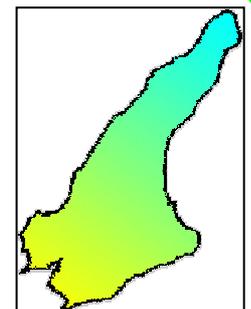
ヒアリング  
調査

- ・ミクロな把握
- ・地域性
- ・役場/Uターン支援センターの現状



考察  
地域情報構築

- ・あるべき条件と果たせる可能性
- ・GISを用いた地域情報の構築



# 同窓会名簿によるUターン実態

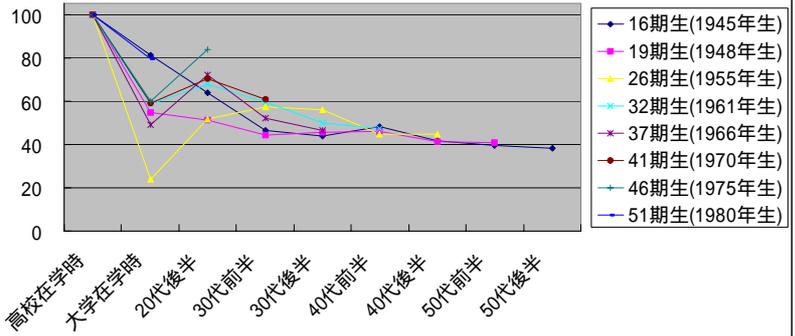
## 見られる差異

谷のない1945年生、  
1948年生コーホート

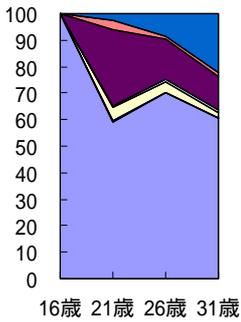
早い段階での  
Uターン者の増加  
その後の再流出

就職後の流出率 男 < 女

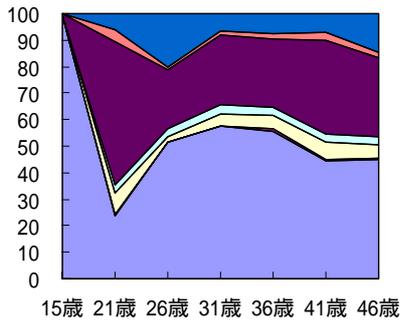
洲本高校卒業生 コーホートによる比較 (総数)



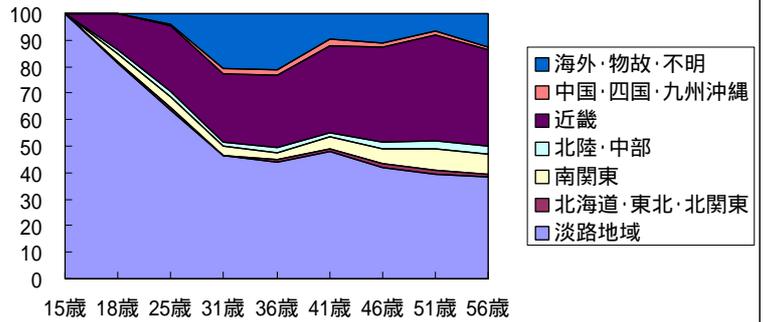
41期生



26期生(1955年生まれ)

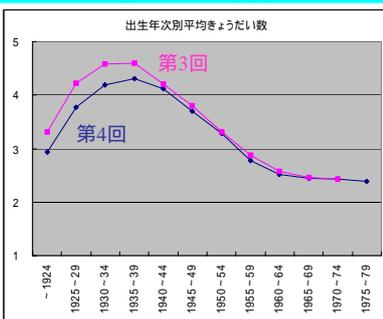


16期生(1945年生まれコーホート) 総数



# 仮説と既存データによる裏づけ

## きょうだい数



出所  
第3回  
第4回  
世帯動態  
調査

## 学歴

### 高卒就職率

1945年生まれ 15%  
1955年生まれ 10%  
1970年生まれ 14%  
1980年生まれ 6%

出所：洲本高校「進路状況」

## 所得格差

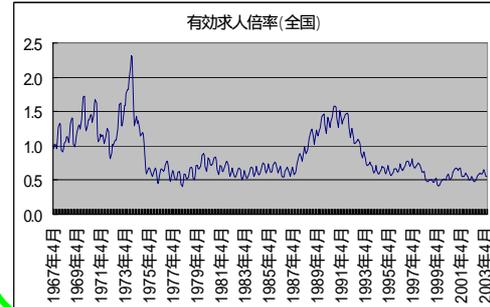
地方圏と大都市圏の初任給の  
格差縮小が[U]を増加させた？

No

両者の初任給比はほとんど  
変化なし 0.9程度

引用：山口・荒井・江崎  
使用資料：新規学卒者の労働市場

## 雇用機会



出所  
職業  
安定  
業務  
統計

# アンケート調査概要

## アンケート調査の目的 「淡路島への帰還実態」

どんな人が、いつ、なぜ帰還しているの？  
帰還している人、帰還していない人の違いは？  
それは時代とともにどのように変化してきているの？

## アンケート調査の対象・比較法

16期生（1945年生まれ）  
淡路島在住者（帰還者）

コーホート間  
の比較

帰還・非帰還  
の比較

16期生（1945年生まれ）  
淡路島非在住者（非帰還者）

コーホート間  
の比較

26期生（1955年生まれ）  
淡路島在住者（帰還者）

コーホート間  
の比較

帰還・非帰還  
の比較

26期生（1955年生まれ）  
淡路島非在住者（非帰還者）

コーホート間  
の比較

41期生（1970年生まれ）  
淡路島在住者（帰還者）

コーホート間  
の比較

帰還・非帰還  
の比較

41期生（1970年生まれ）  
淡路島非在住者（非帰還者）

コーホート間  
の比較

# わが国における「人口遷流移動研究」

## 帰還者の量的把握

人口移動の材料・・・国勢調査報告、住民基本台帳人口移動報告  
出身地が不明なため「Uターン者」数の見積りが不可  
Uターン者数の把握には、出身地と現住地、その間の居住経歴が必要  
**データ上の制約から、量的把握すら進展していない**

近年 国立社会保障・人口問題研究所「人口移動調査」  
荒井・江崎・川口...長野・宮崎県出身男性へのアンケート調査

## Uターン発生メカニズムの解明

Uターンの発生メカニズム

「どのようなライフステージ上の段階において帰還が行なわれるのか」  
という視点が必要

人口研「人口移動調査」・・・ライフイベント時における居住地のみ  
自治体による意向調査・・・Uターン非実行者にものみ

**世代間比較等を通じた「Uターン」発生メカニズム解明の試みなし**

# 「共通点」と「新規性」

## 共通点

荒井・江崎・川口による研究

長野・宮崎県出身男性、3世代に対するアンケート調査

家族構成・学歴・居住経歴・移住理由・職歴など

Uターンの時期、出身市町村志向、Uターン傾向の強まりを確認

Uターンの誘引・阻害要因を解明

**本研究の位置づけ** より一般性を持たせるための事例的研究

## 新規性・オリジナリティ

- ・男性だけでなく女性の移動実態
- ・Uターン実行後の再流出の実態・要因
- ・地方圏出身者の高齢期における移動・居住
- ・Uターン後の、地域における役割
- ・ライフコースの中のUターン
- ・淡路島の進学高校卒業生という特殊性

## 本研究の位置づけ

これら新規性を  
導き出せる  
アンケート調査を通し  
新しい知見を示す

# アンケート対象者の類型

## 男女による分類

男性

女性・・職は夫のものに注目

## コーホートによる分類

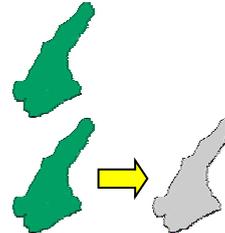
26期生(1955生) 現在48歳  
このコーホートを中心に分析  
きょうだいが少ない頃  
「Uターンしないと」?

16期生(1945生) 現在58歳  
定年後・高齢期の居留意向  
きょうだいの多い頃  
「Uターンしなくても」?

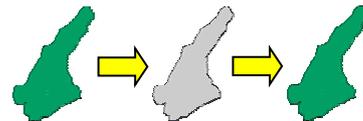
41期生(1970生) 現在33歳  
若年層の移動実態・意向

## 居住パターンによる類型

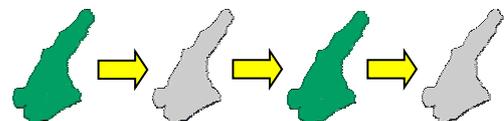
Uターン非実行者



Uターン実行



再流出者



# アンケートの構造

## >> 全員「基本属性」

基本属性（年齢・性別・きょうだい数・学歴・家族構成・職業など）  
配偶者の出身地、居住経歴（高校在学時～現在、3類型化）

## >> [U]非実行者

[U]検討の有無・時期・程度  
検討時の家族  
[U]断念の理由  
[U]の誘引・阻害  
今後の意向

## >> [U]実行者

[U]の時期・家族  
[U]の誘引・阻害  
[U]前後の変化  
（職・収入）  
地域活動  
今後の意向

## >> 再流出者

[U]の時期・家族  
[U]の誘引・阻害  
[U]前後の変化  
再流出の時期・家族  
再流出の理由・変化  
今後の意向

## >> 全員「経験を通して」

将来の居住地・同居者の意向  
淡路地域に対する満足・不満、[U]促進策に必要な手段  
[U]に対する自由意見、ヒアリングの可否、結果概要の要否

# みんなで議論しましょっ

## テーマ

Uターンの 時期・きっかけ って？

どのような 時期・きっかけ でUターンを検討し、  
どのような Push・Pull要因、誘引・阻害要因のもと、  
どのような 選択肢 が用意され、実行しているのか。

世代や男女によって、その違いは？

いろんな立場を想定して、思いつくままご意見ください。

## テーマ

それを解明できる  
アンケート票 って？？

ヒント  
アドバイス  
ダメ出し ください。



## 配布資料

アンケート<失敗作> ライフコース例



# つまり・・・

Uターン時期要因	1945年生まれ		1955年生まれ		1970年生まれ	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
進学	進学	進学	進学	進学	進学	進学
就職	就職	就職	就職	就職	就職	就職
結婚	結婚	結婚	結婚	結婚	結婚	結婚
子供	子供	子供	子供	子供	子供	子供
定年	定年	定年	定年	定年	定年	定年
将来意向	居住地同居者	居住地同居者	居住地同居者	居住地同居者	居住地同居者	居住地同居者

ライフイベントの中でのUターンのきっかけ・時期

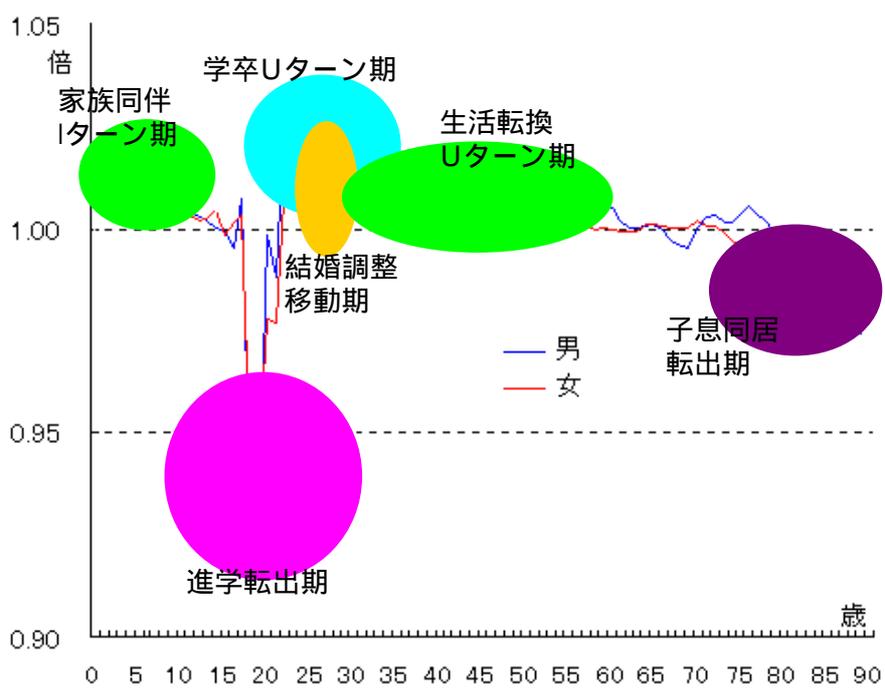


淡路島・都市部のPush要因・Pull 要因

		淡路島	都市部
職業的理由	pull要因	親の家業継承	進学先豊かな就職機会 高い収入
家族・家産的理由		親の介護 親の家業継承 親の家財継承	充実した教育環境 充実した福祉サービス
社会関係的理由		子供の頃からの人間関係 親戚が多い	あっさりした人間関係(?)
地域風土的理由		豊かな自然環境 のんびりとした土地柄 良好な住宅環境(?) 安い物価 明石大橋による神戸への近距離性 充実した福祉サービス	「都会」の華やかさ 利便性
職業的理由	push要因	大学がない 就職先の不足 低い収入	「会社」という組織
家族・家産的理由		教育環境の不足	呼寄せを拒む親
社会関係的理由		「地域社会」「ムラ社会」	人間関係の崩壊 親戚がない不安
地域風土的理由		華やかさがない(?)	自然環境の少なさ 大都会のせわしさ 高い物価

## 地方圏における社会移動要因

富山県の年齢別社会増減率（平成7年）



出所：浜松誠二「富山を考えるヒント」

# みんなで議論

## 大学進学

1945年生まれ 1963年 約85%が進学 学卒就職がUターンの中心  
1955年生まれ 1973年  
1970年生まれ 1988年  
1980年生まれ 1998年 神戸にも通学可？

同窓会名簿では不明瞭な時期 アンケートで明瞭に  
近年ほど様々な地域に拡散 or 近畿圏集中？ その後の[U]にどう影響？

## 就職

Uターンの大部分が学卒就職Uターン？  
Uターンして何の仕事？ 自営、公務、教員、銀行員、農協？  
若い世代でも自営・商売？

神戸圏への通勤は？ 結構いるのでは？  
神戸勤務者は、毎日淡路島から通勤 or 神戸と淡路との二重生活？

# みんなで議論

## 結婚

配偶者の出身地は？  
Uターン者は、配偶者と[U]前に知合う or [U]後に知合う？

男が淡路、女が島外なら 淡路での生活？  
男が島外、女が淡路なら 島外での生活？ 違った例も。。

橋の影響によって、神戸も通婚圏化？  
結婚時だけでなく、その後に配偶者の出身地はどう影響？



## 子供

Uターンの最大のネックは子供？  
子供ができたらUターン・移動は急減？ 学校、教育環境  
どの時期までならUターン可能？ 小学、中学、高校、大学？

子供の将来にUターンを期待？  
将来面倒を見てもらうのは子供？

# みんなで議論

## 親

介護が必要になったら

親元へ移住(淡路なら[U]成立) or 呼び寄せ or 公的サービス

仕事の継承は 親が元気なとき or 亡くなってから or 無視

持家の継承は 親が元気なとき or 亡くなってから or 無視

そもそも、親が島外ならUターンという選択肢は無い？

親との同居・近居は主目的・副目的？

## 定年・老後

豊かな自然を求めて[U]？

都会生活の利便性を追求？

淡路島と神戸との二重生活？

福祉サービスの充実した地域？

五色町の介護移住

子供の世話になる(呼寄せ・移住)

or 施設(淡路・島外)

## 離婚・死別

島外で離婚して

淡路(実家)へ戻る？

島内で離婚しても

島外へは出て行かない？

# 今後の予定



2001卒業制作

~

2002.05

既往研究/統計  
仮説立て

アンケート作成・実施

2003.09 ~ 10

ヒアリング

2003秋

考察

2003秋 ~ 冬